

連絡先 自動車局審査・リコール課 リコール監理室
 TEL 03-5253-8111 内線42354
 アドレス : http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成24年9月13日

リコール届出番号	3024	リコール開始日	平成24年9月14日
届出者の氏名又は名称	日産自動車株式会社 取締役社長 カルロス ゴーン 問い合わせ先：お客さま相談室 TEL 0120-315-232		
不具合の部位（部品名）	①遮音材、②エンジン制御コンピュータ、③吸気ダクト		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>① ディーゼルエンジン搭載車において、エンジンルーム内の遮音材の固定方法が不適切なため、ブレーキ配管の組付け角度によっては、ブレーキ配管により遮音材がエンジン側に押されているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、エンジンの熱により遮音材が軟化して更にエンジン過給器に近づくものがあり、最悪の場合、過給器の熱により遮音材が焼損するおそれがある。</p> <p>② ディーゼルエンジン搭載車のDPF（ディーゼル粒子状物質除去装置）のエンジン制御コンピュータにおいて、PM（黒煙等からなる粒子状物質）除去の制御が不適切なため、短時間の走行を繰り返した場合、PMが多量に堆積するものがある。また、PMが多量に堆積して再生禁止領域に達しているにも関わらず制御が不適切なため、自動再生（捕集した粒子状物質の燃焼除去）が行なわれる。そのため、そのままの状態で使用を続けると、PMが多量に堆積した状態で自動再生が行なわれてDPFが高温となり、最悪の場合、DPFが破損して黒煙が排出されるおそれがある。</p> <p>③ ディーゼルエンジン搭載車の吸気ダクトにおいて、当該ダクトの強度が不足しているため、当該ダクト固定用のクランプ部に応力が集中して亀裂が発生し、吸入空気、ブローバイガスが漏れるものがある。そのため、エンジン警告灯が点灯して、加速不良に至るおそれがある。</p>		
改善措置の内容	<p>① 全車両、当該遮音材を固定するブラケットを追加するとともに、インシュレータの部分焼損、または、ブレーキ配管の溶損が認められる場合は、当該インシュレータ、または、当該ブレーキ配管を新品と交換する。</p> <p>② 全車両、当該エンジン制御コンピュータのプログラムを修正するとともに、DPFを点検して損傷のおそれがある場合には、DPFを新品と交換する。</p> <p>③ 全車両、当該ダクト、および、当該クランプを対策品と交換する。</p>		
不具合件数	①2件、②15件、③35件	事故の有無	① 部分焼損2件 ②、③ なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo.3024のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ニッサン	LDA-DNT31	エクストレイル	DNT31-000009～DNT31-300410 平成20年8月20日～平成24年7月30日	17,864	①16,976 ②17,864 ③ 4,443
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成20年8月20日～平成24年7月30日	(計17,864台)	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。